



第13回 妊娠と 地域女性のくすりの 悩みの支援と情報提供ができる かかりつけ薬剤師になる!!

保険薬局薬剤師向け「妊娠と薬情報センター」研修会

コロナ災禍で第一線で頑張っておられる皆様に感謝を込めて。

本邦では、2016年2月の薬機法発出による「かかりつけ薬剤師」「健康サポート薬局」の制度が本格的に稼働し始めました。女性の健康支援は、その制度の中で大変重要な項目の一つとなっており、妊娠と薬をめぐる様々な課題解決や地域住民の方への教育啓発活動は大きな柱になると考えられます。

妊娠と薬に関する問題を解決するために国家プロジェクトとしてスタートした「妊娠と薬情報センター」も発足後15年以上が経過し、様々な研究成果、実臨床における経験事例が積み重なっています。その成果を広く紹介し、当該領域の研究をさらに発展させていくためには、地域の薬剤師皆様のご協力が必要です。そのため、保険薬局薬剤師(かかりつけ薬剤師)の方を対象とした研修会を2018年から定期的に開催しています。かかりつけ薬剤師の方々に、センターのこれまでの成果や理念を理解いただき、妊娠・授乳と薬に関する考え方を学び、地域の方への周知や妊娠・授乳相談の橋渡しとしてご尽力をいただきたいと考えております。また、この分野について勉強する機会が少ないと感じておられる病院薬剤師の先生方も、是非ご参加ください。

2022年

12月11日

10:00~16:00 WEB開催

参加費 5,000円(資料送付代込み)

すべての時間参加された参加者全員に修了書が発行されます

※年間パスポートは使えません

定員:保険薬局薬剤師 300名

日本薬剤師研修センター研修受講単位
2単位(申請予定)

研修内容(研修受講単位対象は第2部となります)

プロローグ

【第1部】

10:00~10:30 妊娠と薬情報センターの理念・活動実績とこれから

◎講師 妊娠と薬情報センター センター長(医師) 村島温子

妊娠と薬情報センター に関わる知識研修

【第2部】

10:30~11:00 妊娠と薬の分野で必要な産婦人科の基礎知識

◎講師 国立成育医療研究センター 妊娠と薬情報センター(医師) 藤岡 泉

11:00~11:30 妊娠中の薬に関する考え方とカウンセリング方法

◎講師 国立成育医療研究センター 妊娠と薬情報センター・薬剤部兼務(薬剤師) 三浦寄子

11:30~12:00 授乳中の薬に関する考え方

◎講師 国立成育医療研究センター 妊娠と薬情報センター(医師) 肥沼 幸

~昼食休憩~

妊娠と薬情報センターの 紹介・関わり:技能研修

12:45~13:15 妊娠と薬情報センターでの相談業務の実際

13:15~13:45 授乳相談聞き取りシートの活用方法

~休憩15分~

エピローグトーク

14:00~15:45 妊娠・授乳相談への基本対応に関する模擬演習

(症例提示・発表・解説 妊娠相談1例、授乳相談2例)

15:45~16:00 【まとめ】アンケート記入と質疑応答

申込方法: HAP 研修申込管理システム (NPO 法人 HAP の HP に掲載) よりお申し込みください

(原則開催3日前締切とさせていただきます。直前にお申込みの場合は資料送付が後日となりますので、あらかじめご了承ください)

日本薬剤師研修センターの研修受講単位は「薬剤師研修・認定電子システム(PECS)」にて交付されます。PECS 登録をしなければ研修受講単位が取得できませんので、各自 PECS へのご登録をお願いします。

*研修受講単位は次の条件を満たした場合に取得できるものとします:① HAP システム登録のメールアドレスにて参加すること、② 研修参加時は登録した名前(フルネーム)を表示すること、③ 研修会への入室時刻・退出時刻のログ記録で参加確認を行うため、参加時間が規定に満たない場合や途中退出の場合は単位交付不可となること、④ そのほか単位取得の必要事項を満たすこと。

主催: 特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women

共催: 妊娠と薬情報センター 妊娠と薬情報研究会

申し込みはこちら

